



○聖書研究会（センター教員・越川弘英）
ランチタイムにクラーク記念館で聖書を学んでいます（マタイによる福音書）。担当者（越川）が用意する釈義ノートを使いながら聖書を読み、ディスカッションをします。キリスト教に初めて接する方にも分かりやすく、なおかつ、ある程度の学術的な知識や見解も学べるような集いをめざしています。短い時間ですが、聖書に関心のある方はぜひお立ち寄りください。
（原則第2・4月曜日 12:30～13:00
クラーク記念館1階キリスト教文化センターラウンジ）



聖書研究会の紹介動画

○バイブル・シェアリング（センター教員・三木メイ）
「バイブル・シェアリング」とは、「聖書の御言葉（みことば）の分かち合い」という意味です。これは参加者一人ひとりが今置かれている状況のなかで、聖書の御言葉と向き合い、御言葉の語りかけに耳を傾け、感じたことを互いに分かち合うことを大切にしているプログラムです。互いの想いを聴き合いながら、楽しく学ぶことができますので、気軽に参加してみてください。
（原則第2・4火曜日 13:30～14:10
同志社京田辺会堂光館（HIKARI-KAN）チャプレン室）



バイブル・シェアリングの紹介動画

○バイブル・シェアリング（チャプレン・栗原宏介）
なんだか難しそう…、私には絶対無理！聖書にそんなイメージをもっていませんか。そんな一見とつきにくい聖書に肩ひじ張らずに、気楽にふれてみようというのがこのバイブル・シェアリング。聖書に親しむ最初の一歩としてぜひ怖がらずに（笑）参加してみてくださいませ。もちろんもっと聖書の学びを深めたいという方も大歓迎です。いろいろな方々と出会い、ともに聖書を読みましょ！
（毎週金曜日 13:10～14:40
クラーク記念館1階キリスト教文化センターラウンジ）



お知らせ

- Doshisha Spirit Week 2019 春
6月3日（月）～6月8日（土）
同志社大学の歴史や建学の精神、新島襄についての講演、同志社大学応援団による演舞、キャンパスめぐり隊など、さまざまな企画を行います。創立の志に触れる1週間です。
＜今出川校地講演＞
6月5日（水）14:55～
「会衆派教会のスピリット」
神戸女学院大学文学部教授 中野 敬一
6月6日（木）13:10～
「志—同志社の座標軸—」
日本キリスト教団同志社教会牧師 望月 修治
＜京田辺校地講演＞
6月4日（火）10:45～
「維新三傑と同志社—とくに木戸孝允と新島襄」
元神学部教授 本井 康博
6月5日（水）10:45～
「下村孝太郎—新島から理科教育を託された男」
元同志社女子中学校・高等学校校長 森 一郎
※会場はHP・掲示板などをご確認ください。

- 募集人数：各回 50 名
- 講演会場：同志社礼拝堂（今出川校地）予定
- ・参加を希望する回を選び、各回の開催1週間前までにメールもしくは登録フォームで申し込んでください。

《e-mail》
jt-kirib@mail.doshisha.ac.jp
《登録フォーム》
<https://goo.gl/6RWkfh>



登録フォーム

- チャペル・コンサート
日時：7月27日（土）17:00～19:00
演奏者：鈴木・ライナー・龍一
会場：同志社礼拝堂
入場無料、事前申込不要
- メディテーション・アワー
オルガニストによるオルガン演奏を聴きながら心静かなひとときをお過ごしください。
今出川校地 7月25日（木）までの月～木 12:30～13:00
会場：同志社礼拝堂
京田辺校地 7月25日（木）までの月～木 12:30～13:00
会場：同志社京田辺会堂光館（KOTOBA-KAN）礼拝堂
- チャプレンとの面談
学生の人生における悩みや不安などの相談に応じています。
（教会のみならず、学校、病院などで働きを担う牧師をチャプレンと呼びます。）
今出川校地・京田辺校地
随時面談を受け付けます 越川 弘英、三木 メイ
今出川校地 金曜日 13:10～14:40 栗原 宏介
京田辺校地 金曜日 13:00～15:00 月下 星志

各行事の詳細は、HPまたはキリスト教文化センター掲示板のポスター等をご覧ください。
HP：<http://www.christian-center.jp/>

チャペルアワー案内

2019年6月1日

No.244

同志社大学
キリスト教文化センター

京田辺
0774-65-7370
今出川
075-251-3320

HP
<http://www.christian-center.jp/>

ペンテコステのシンボル 鳩

イラスト 中谷隆志

春学期チャペル・アワー統一テーマ

「人にももらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。」
（マタイによる福音書7章12節より）

あなたが人にももらいたいと思うことは何ですか？私は断然これです。褒められたい！ならば率先して人を褒めよう！はたしてこの聖書の言葉はそういうことを言っているのでしょうか？なんとなくそんなに単純なことではなさそうですね。まず私が人にしてもらいたいと思うことが他の人もまたしてもらいたいことなのか？という疑問があります。このように、聖書に書いてあるからそうしようとする行動すれば単に迷惑をかけてしまうということになりはしないでしょうか。

この箇所では「自分を愛するようにあなたの隣人を愛しなさい」というイエスの言葉ではないかと思えます。この箇所も、もしかしたら解説が必要なのかもしれません。自分を愛するとはどういうことか？隣人とは誰か？など疑問は尽きませんが、それはひとまず置いておいて、今学期の統一テーマの視点から見ると「あなたがたも人にする」ことには「愛する」視点が絶対的に必要なのではないかと考えます。単純に自分の欲求を押し付けたり、自分勝手にしたことをすることではないことを肝に銘じたいと思います。

（キリスト教文化センターチャプレン）

日本キリスト教団岡本教会牧師 栗原 宏介



チャペル・アワー

*年間実施予定 春学期：7月26日(金)まで

秋学期：9月24日(火)～2020年1月24日(金)

◎チャペル・アワーは、どなたでも自由にご参加いただけるプログラムです。

◎当日の奨励題など詳細につきましては、ホームページや学内掲示板をご覧ください。

スケジュール(春学期後半)

京田辺校地

月/日	奨励者
6/4	日本キリスト教団岡本教会牧師 栗原宏介
6/11	日本キリスト教団千里聖愛教会牧師 川江友二
6/18	日本キリスト教団桂教会牧師 熊谷沙蘭
6/25	日本キリスト教団岡本教会牧師 栗原宏介
7/2	キリスト教文化センター准教授 三木メイ
7/9	日本キリスト教団千里聖愛教会牧師 川江友二
7/16	日本キリスト教団桂教会牧師 熊谷沙蘭
7/23	キリスト教文化センター准教授 三木メイ

水曜ランチタイム・チャペル・アワー

同志社京田辺会堂 言館礼拝堂 毎水曜日12時35分～13時

月/日	奨励者
6/5	Doshisha Spirit Week 2019 春 同志社国際中学校・高等学校宗教センター主任 山本真司
6/12	日本キリスト教団扇町教会牧師 山田真理
6/19	日本キリスト教団能登川教会牧師 谷香澄
6/26	神学部嘱託講師 若林裕
7/3	日本福音ルーテル東京教会主任牧師 関野和寛
7/10	障がい学生支援室長 阪田真日子
7/17	理工学部教授 千田二郎
7/24	同志社香里中学校・高等学校聖書科教員 富田正樹

金曜ランチタイム・チャペル・アワー

同志社京田辺会堂 言館礼拝堂 毎金曜日12時35分～13時

月/日	奨励者
6/7	日本キリスト教団高槻日吉台教会牧師 小笠原純
6/14	日本キリスト教団豊中教会牧師 山崎道子
6/21	日本キリスト教団上鳥羽教会牧師 月下星志
6/28	日本キリスト教団京都葵教会牧師 内山友也
7/5	音楽礼拝 同志社女子大学文学部音楽学科教授 松下悦子
7/12	日本キリスト教団高槻日吉台教会牧師 小笠原純
7/19	日本キリスト教団豊中教会牧師 山崎道子
7/26	キリスト教文化センター教授 越川弘英

今出川校地

月/日	奨励者
6/4	Doshisha Spirit Week 2019 春 同志社女子中学校・高等学校聖書科教諭 生田香緒里
6/11	音楽礼拝 同志社教職員合唱団 田川智香子
6/18	プール学院短期大学チャプレン補 ヒュームユーン ※
6/25	同志社女子中学校・高等学校教頭 平松譲二
7/2	日本福音ルーテル東京教会主任牧師 関野和寛
7/9	音楽礼拝 同志社学生聖歌隊 神学部生 大澤望
7/16	日本キリスト教団神戸聖愛教会牧師 小栗献
7/23	日本キリスト教団加茂川教会副牧師 上林護

水曜チャペル・アワー

クラーク・チャペル 毎水曜日10時45分～11時30分

月/日	奨励者
6/5	Doshisha Spirit Week 2019 春 神学部教授 村上みか
6/12	日本キリスト教団河内長野みざわ教会牧師 福島義也
6/19	神学部嘱託講師 李元重
6/26	日本聖公会ウイリアムス神学館館長 黒田裕
7/3	平安女学院中学校・高等学校チャプレン 古本みさ
7/10	日本キリスト教団阿倍野教会牧師 山下壮起
7/17	文学部教授 石塚則子
7/24	韓国メソジスト教団派遣宣教師 朴シネ

金曜ランチタイム・チャペル・アワー

同志社礼拝堂 毎金曜日12時35分～13時

月/日	奨励者
6/7	日本キリスト教団高の原教会牧師 竹ヶ原政輝
6/14	神学部教授 石川立
6/21	キリスト教文化センター教授 越川弘英
6/28	日本キリスト教団同志社教会牧師 望月修治
7/5	日本キリスト教団岡本教会牧師 栗原宏介
7/12	日本キリスト教団高の原教会牧師 竹ヶ原政輝
7/19	キリスト教文化センター教授 越川弘英
7/26	神学部教授 石川立

※今出川校地6/18の奨励は英語で行います。

エッセイ

『EUキャンパス誕生秘話』

和田喜彦

With Face of Eternity, Everything is Relative

永遠の価値の前では他の価値は相対的に低くかすんで見える

同志社大学チュービンゲンEUキャンパス(略称：EUキャンパス)が2017年度にドイツ・チュービンゲン大学構内に設置され、2018年度より本格的な活用が始まりました。冒頭の言葉は、チュービンゲン大学のエングラール学長がこの2月、本学からの訪問団に対して紹介された17世紀オランダの哲学者スピノザの言葉です(前半はラテン語で、Sub specie aeternitatis)。「その心は」とエングラール学長は続けました。「同志社大学は、26年間にわたり、学内に『チュービンゲン大学同志社日本研究センター』を置いてくださり、その運営への支援を惜しみませんでした。『誠実さ』という『永遠の価値』を同志社は提供してくれたのです。それゆえ両大学の関係を極めて大切に思っています。京都の大学と関係を築くのなら他にも優秀な大学があるじゃないかという学内の意見に対して、右のスピノザの言葉で反論しています」とおっしゃいました。17世紀に生きたスピノザが、エングラール学長を通して現代に生きる私たちに語りかけ、時空を超えてEUキャンパスの誕生をアシストしたのではないのでしょうか。

スピノザとエングラール学長に刺激され、あらためてドイツという国柄と「永遠の価値」の関係について考えてみました。するとドイツは、戦後、さまざまな「永遠の価値」を守ることに努力を傾けていることに気づかされました。たとえば、「人間の尊厳(human dignity)」「人権」「歴史の真実」「自由」などです。

憲法に相当する「ドイツ連邦共和国基本法」の第1条に、「人間の尊厳の不可侵」が明記されています。これはお題目だけでなく、さまざまな場面でその具体例を目にすることができます。チュービンゲンから鉄道で3時間弱の距離にダッハウ強制収容所があります。第二次世界大戦時にヒットラー率いるナチスが多数のユダヤ人や障がい者、政治犯、性的マイノリティーなどに過酷な労働を強要し、ガス室で殺害した歴史が、詳細に展示してあります。特に驚いたのは、生きた人間に細菌を注射する人体実験の過程など、細菌兵器開発に携わった医学者たちのことが本人の実名と顔写真付きで詳しく記述されていたことです。人間の尊厳を侵害した歴史を忘れまいとしているのです。翻って日本では、満州で細菌兵器開発に携わった「731部隊」に従軍した医学者たちは罪を問われることなく、戦後、医学・薬学界に復帰・君臨し続けました。人間尊厳の侵害の全貌は明らかにされていません。元号が変わり、歴史を再評価し、新しい時代を展望する機会が増えました。Society 5.0という未来社会構想も議論されています。その際、ドイツのように「人間の尊厳」などの「永遠の価値」基準によって過去の事象や未来社会のあり方を厳格に評価し、歴史の審判に耐え得るかを検討することが重要であると思います。

(わだ・よしひこII EUキャンパス支援室長・経済学部教授)